宮書院源氏朝ふの巻
有人作
豊国画
ひく
三十三
夢
へ13
3090
12

特
へ13
3090
12

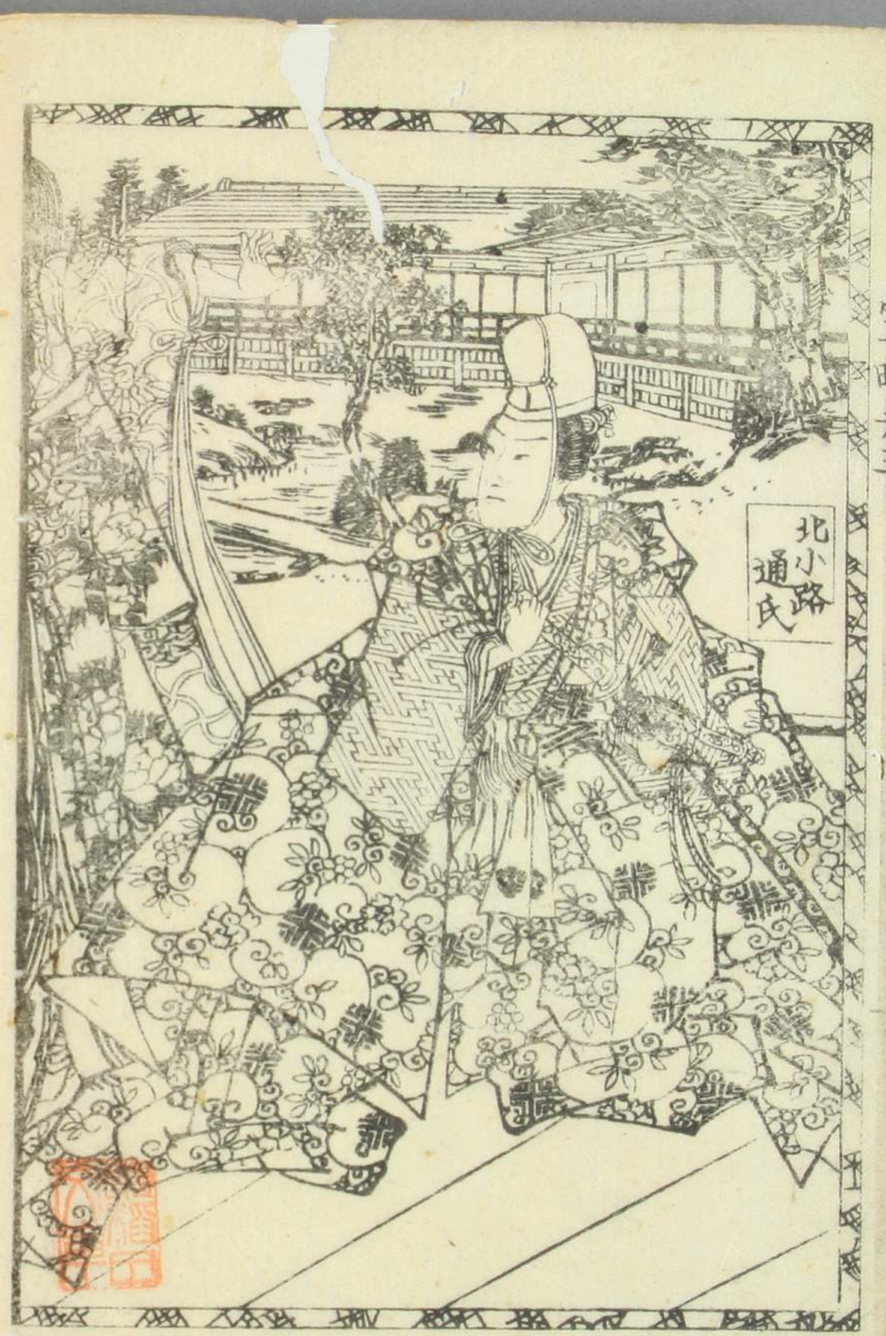
宝町原氏胡蝶
巻柳亭種彦
仇梅陳梅再圖

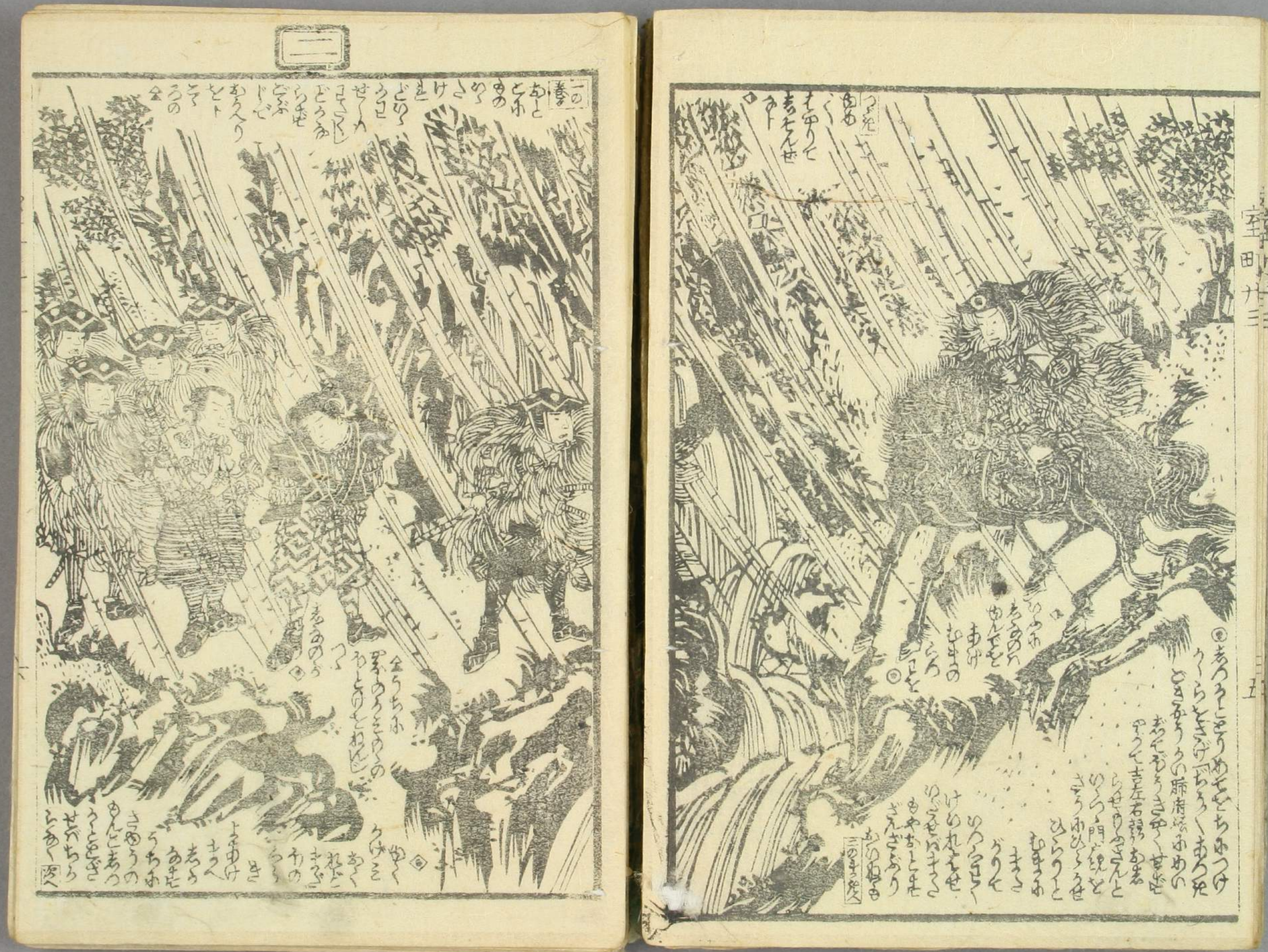
上

結せ馴らす。髪結ハ根締のユ合撫取迄斯せハ看官の意の
溜らん。手ハ馴脇ハ加減とゝ上手とも叩嚊とも賞して
愛顧を得ハ至るまで。倘此仁の他行して一日代の入車あらバ撫ゲ
痛剃刀ゲ前ゲらるゝその大聶ハ此編ハ御馴染の暖簾ハつけ
三ッ彦の花押年經て柳床文章伍の綿密家耳うゝ鼻の穴
迄も微細ハ綴らゝ愉快ハ中〳〵言も盡まじ。然ハあれども
文宗ハ過て七月十六日閻魔の聽場へ趣けバ未ゲ剃刀も
附燒刃の僕ハ次編として掉尤の勸めハ撫の歯も立めも。竟漏
髷の曲形先人名前ゲ御機嫌と取結ゲて〳〵も十代衣足らもぞ。
是迄脚史の敬て髪ゼろ〳〵結局期ハ五ニりて編著ゲ異うバ
嘸ゲ〳〵。御氣味惡も御許ありて手管の底へ投込ハ給ぶるも
わゲ〳〵つふゲうん

ゆゝる有人化

偽花園
秋津
廣沼
信濃


北小路
通氏



種彦遺稿 豊國画有人校訂

明治七年甲戌陽春開板標目

厚化粧萬年嶋田 廿編 春水作 大尾 國貞画

室町源氏胡蝶春 三十編 種彦作 大尾 國貞画

鼠初通夜譚 十編 種彦作 大尾 國貞画

童謡妙々車 三十編 種彦作 大尾 國貞画

簿保幼日記 三十編 春水作 大尾 國貞画

しぬぎ髷飾譚 十五 種彦作 大尾 國貞画

新局九尾傳 廿編 春水作 大尾 國貞画

筆海四國聞書 十五編 種彦作 大尾 國貞画

明鴉墨画廻禍譚 廿編 種彦作 大尾 國貞画

花封蓉玉章 十編 種彦作 大尾 國貞画

八犬傳犬の反紙 六十 柳亭作 大尾 國政画

南傳馬町壹丁目

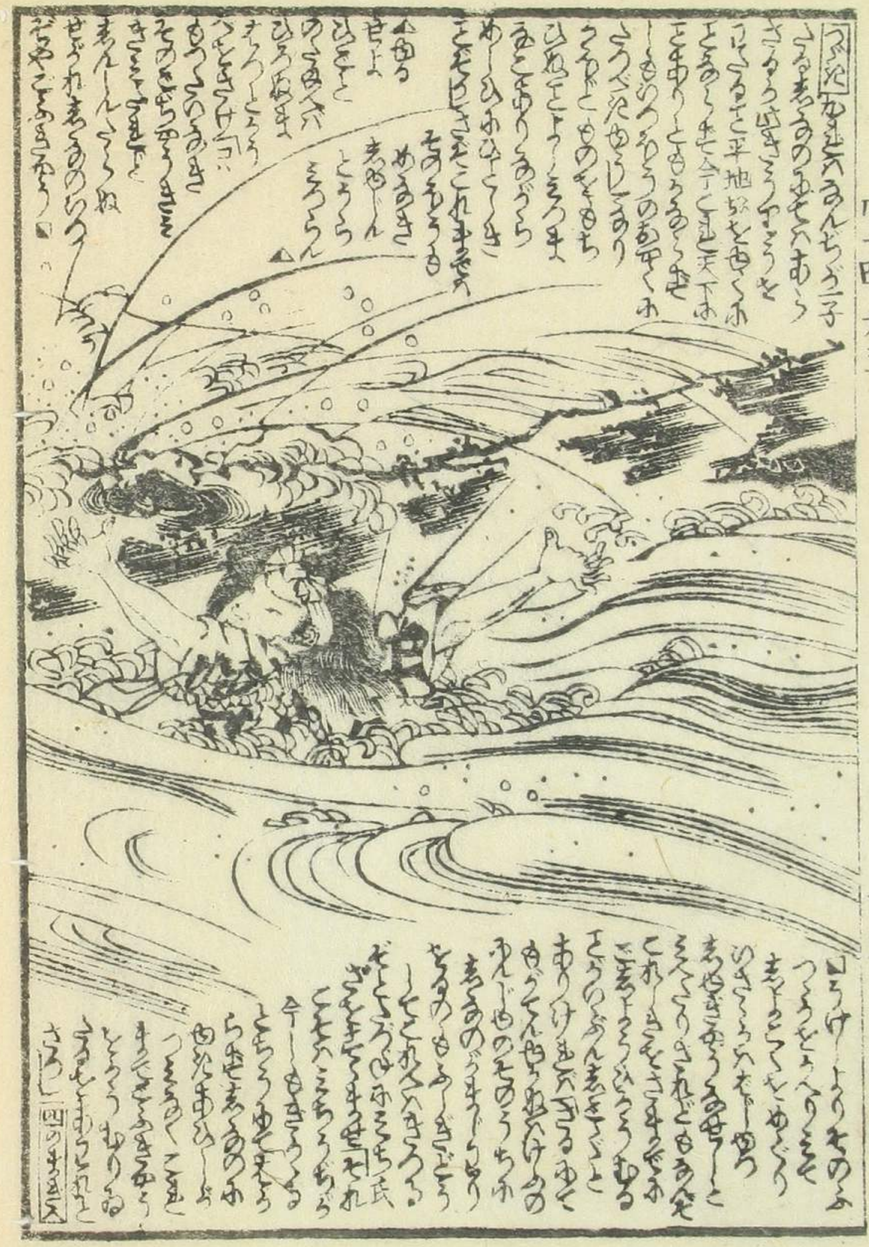
蔦屋吉藏板

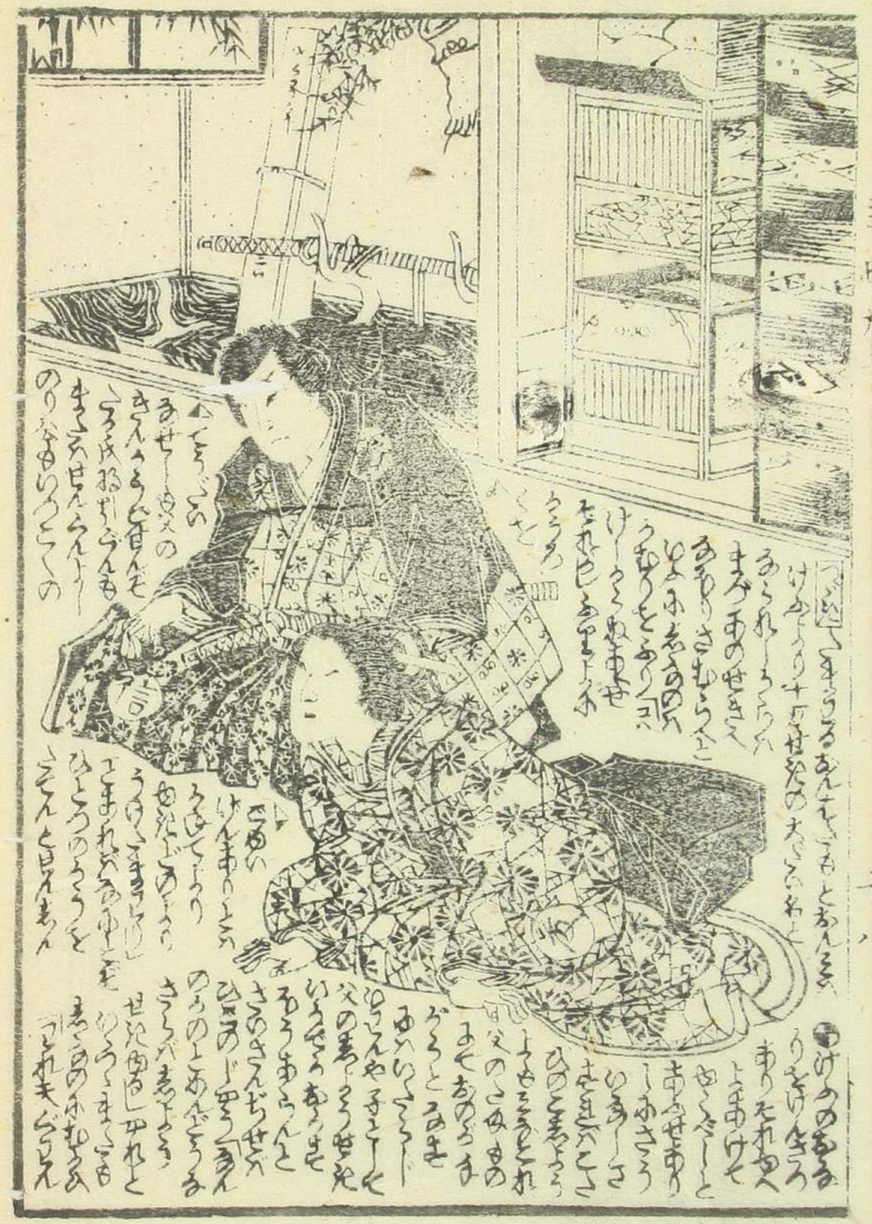
豐國畫
苔人作
二十三下

小ぶろ乃まき

文政三年

下





實用散

柳蔭月朝妻　十編大尾　山々亭有人作　梅朝樓國貞画

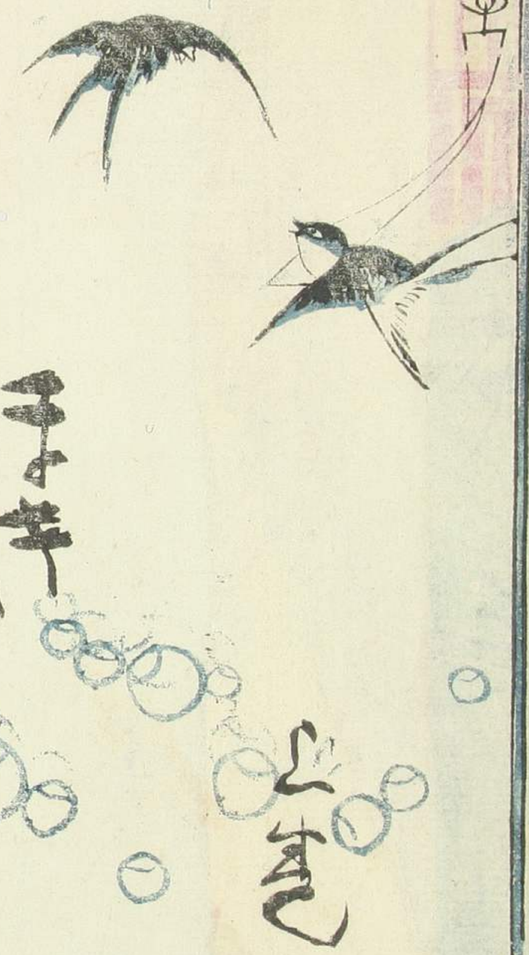
藪黄鶯八幡不知　十編大尾　山々亭有人作　錦朝樓芳虎画

阿玉ヶ池櫛月形　五編大尾　山々亭有人作　一陽斎豊國画

地本綿繪團扇問屋　紅英堂　蔦吉

さんどんきんじ　中橋南傳馬町東側　千葉堂孝姉製

春の光
豐國画
源氏朝顔
玉鬘



明治の華

上篇

花街飛ゆく廻駕も三輪車の往返と變ハ便士さんの艶骨
ハ郵便の神速なるを不知度婆私房銀を日歩に廻せど
疎忽娼妓の肉半の鐘り戀別を恨む幇間席亭ハ滑稽を
盡ハ歌妓戸籍を脱く素人と變ぜ吁流行の移や西洋ぶ
家造ふ高ふ高と毫も潤色を筑紫琴。ひけ過床ハ實情と
變る世界の筋ハ是有人もんの番頭雛妓鹿菜の芋伐
拙ぐ屁の如き文を著ゝ〻ヤ馬鹿ら〜うざんそと序を

明治七年甲戌仲秋稿成
八年乙亥孟春新版

弄月亭綾彦記

無名
稲荷の化身
蘇玉丸

作

つぎ　おーこわ　ごん馬鹿の
そのごとく　くちをとがり　姓名
すひしあけんこい　おめ〳〵どろぼうぬ
幕府まれの女ぬ　くりけをひきて
そのじどさりこう　あやーこ〳〵ひそうふ
こりていちまそく　うりとあくさぬ
ヤあくれたこぶん　ようこあくこき
さくあるあぶく　よろしくとり
色をふさはど　のありがくこと
いなそうえんを　さいはるへ敵なの
の剣ふのころ　とるーとも
ふとうるを　そんぎるを
ひこいきて　あきらふ
びくるる　あびれ

ときるせて　「さてしく
えるこ化　ふてきろ
ろうし　ヤく
そこいさそうき　てっやさ平
ちよてくを　てれきう
つるろうるを　ろうり事件
りいろるとろ　ふふさくい
これがまさ　ふーしらな
ていへいの　きろろも
まくそく　家弟その
るにあも　えくちを
あぬぎふ　妙音ゆ
びくふあり　こうとくるる
お助太郎ふう　ありとれ　つぎへ

「そんなことをいわるるとこまるといとこいろいろ
いろべけつ大おろろ
ぬをもりてまいせば
あるがりてこそ
「これわどうおが
ありいろろ
くまてゆるくるよれわれ
せよといふのり
とあこーふくせ
でいおろうそろ
るもをせおつき
ろけるをでて五ふ
ひくりとさけきて
うでつくんでわ
あげろろいさんで
まくむどろうたの
いるろうへうぐそ
「足下そふふふ
さていふくりでい
あいせあれをたう
さんくてそろる
「くあろりあ」ヨ
ろわくぶちくふ
ついていうめ
あどろできぬ
ろくふ」ろねを

つき人

つき人ひやまおくとあやーろろ
いとものもごれ山道ゆをとき
せれろけくるむん五ふかこと
そてめてこあはらけ「おれをど
ようふのわきこぬいろんお
あくねこつんほろうせとらこふ
けつ大きくこりそころうふ
ろせのるより〜ろとちとろ
おいきこあいせんのや
ろをくあこ「ろろともく
そをわあんまろ
いそいろどいろいきろ
ちろんであるれねへ
「モンおやくこいつぬ
いのまくそくぐ
せへやくとてくと
「さーいどぬべくちち
ちろいふヨめを
ほいてものをろ
さんでつそでそ
そのめておさても
ちるもあるりのろ

つゞき
まきあひてあくをあそぶふるつもりショ
そこふまるつもりとく
とりくつひとく
ふりまるちく
うつそくまび
なん五ぐ
かいを
まくらを
ぬきう
ちふ
かのけつ六ぐ
くさきたをぐ
りんまつとさり
さぶりれどいのら
まくぶまあるる
ものを

いきあひ
まんで
かうく
うち白石陰
ちけーく
きうこむ
ぬいだを
ぶらうま
つえ
こみごめ
ちぐるるよろ
あれいるし
ぶりみちけぶう
ふもてのうりまま
そのまみけつ六
くをふくをふり
えをちて
つゞき

山神廟
康申塚

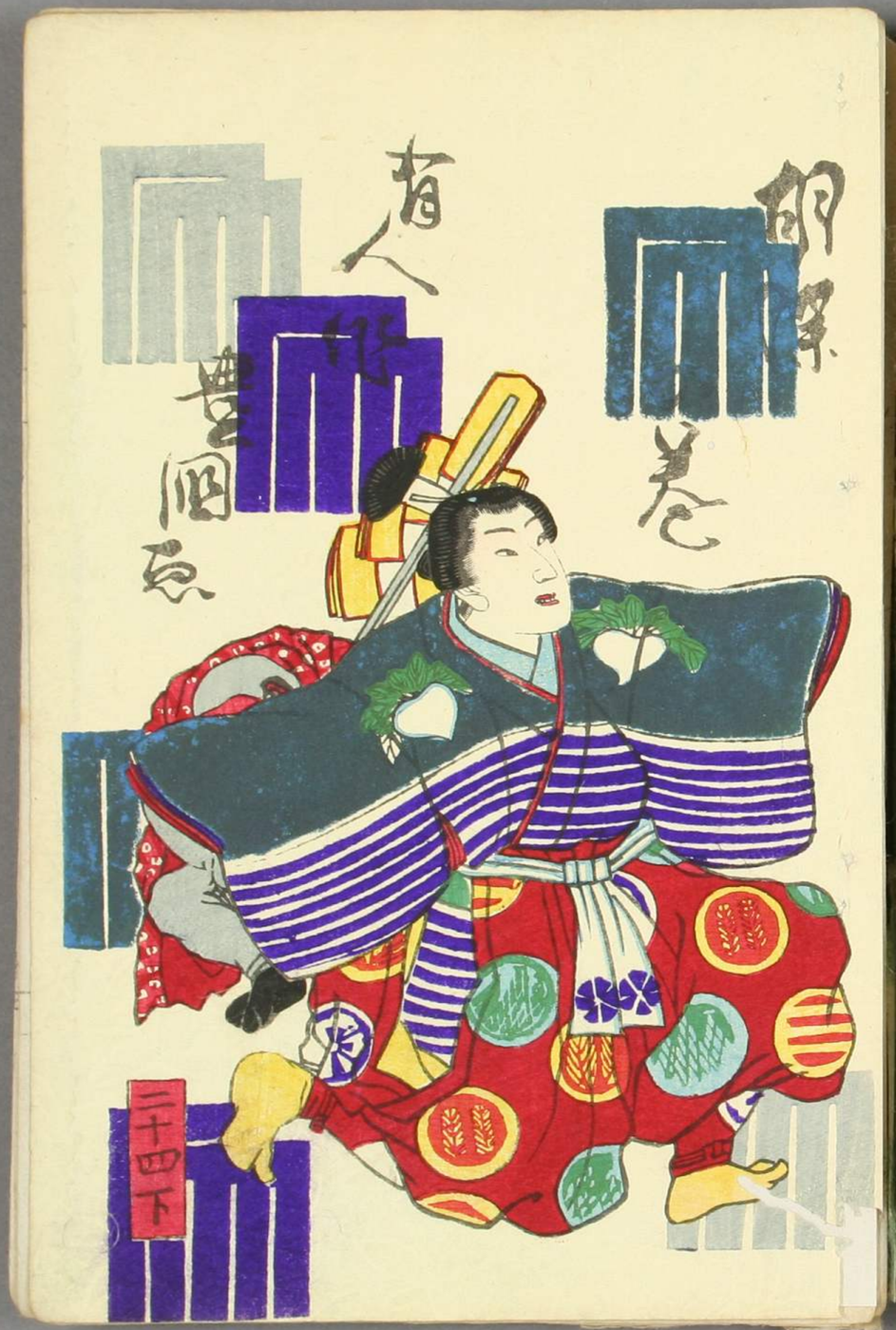
柳葉月朝妻 十編 大尾 山々亭有人作 横朝横國貞画

藪黄鶏八幡不知 十編 大尾 山々亭有人作 錦朝横芳虎画

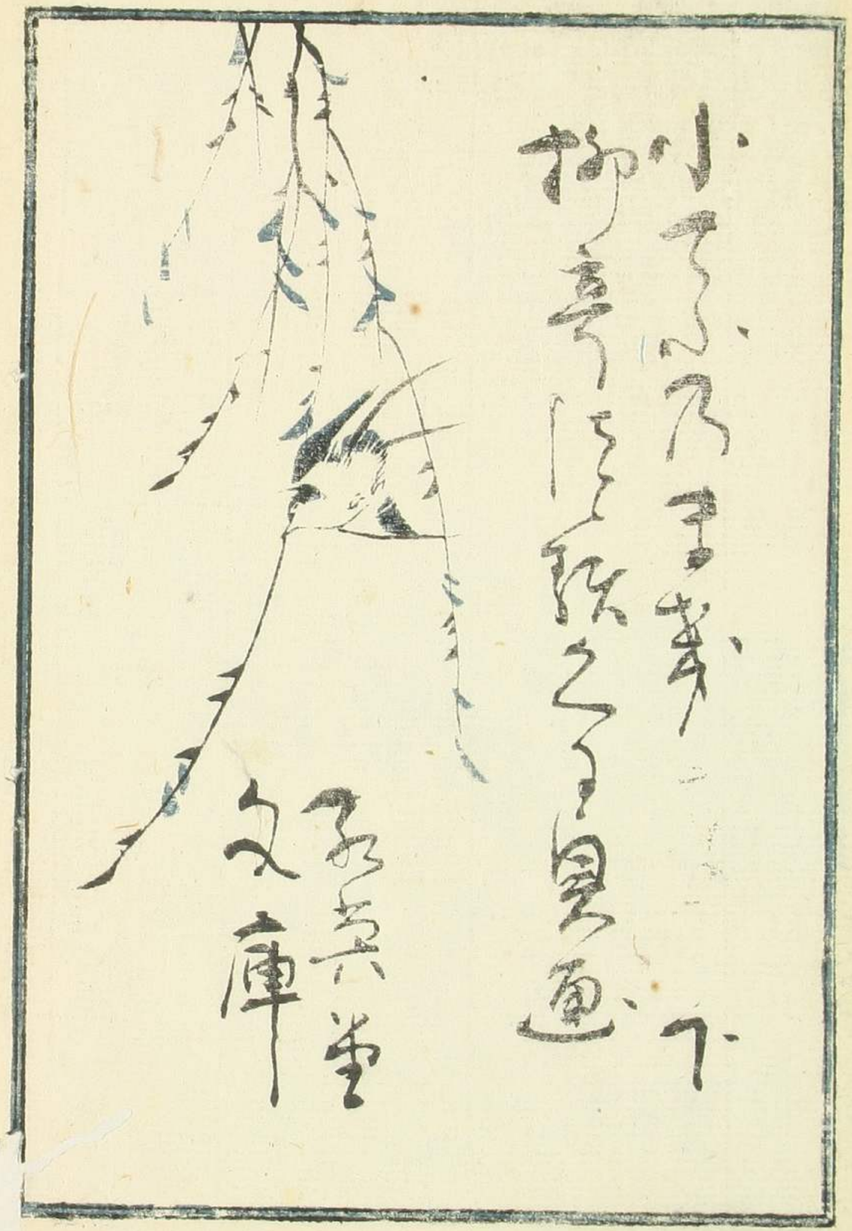
阿玉ケ池梯月形 五編 大尾 爲永春水作 梅堂國政画

八犬傳犬の双紙 六十 大尾 柳亭作 國政画 小學行儀法 全一冊

實母散


有人
豊國画
二十四下

三

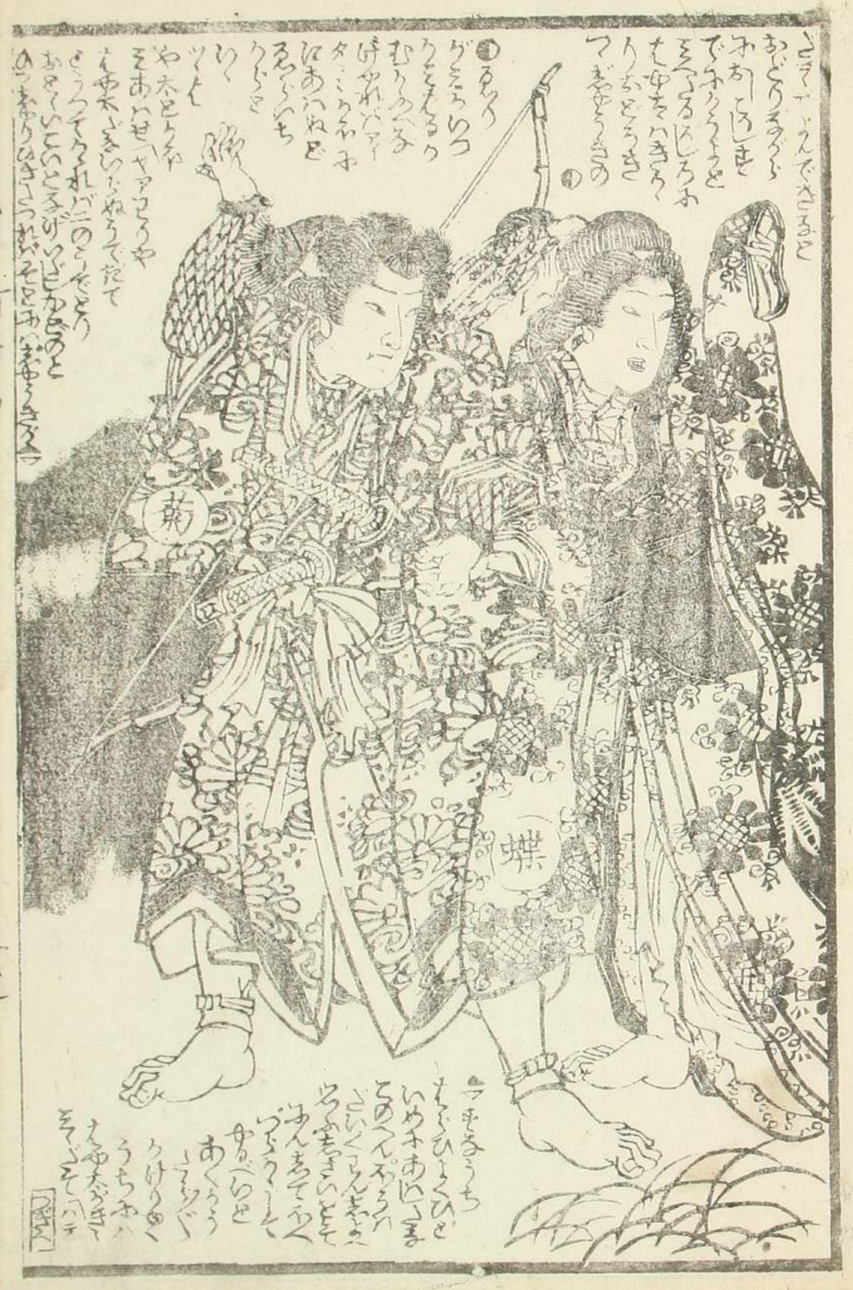

小てふ乃まき
柳亭ほうこう
下
文庫

無名

くびうち
あとせわもんどう
うちてとらう
とらふを
おとこと
日

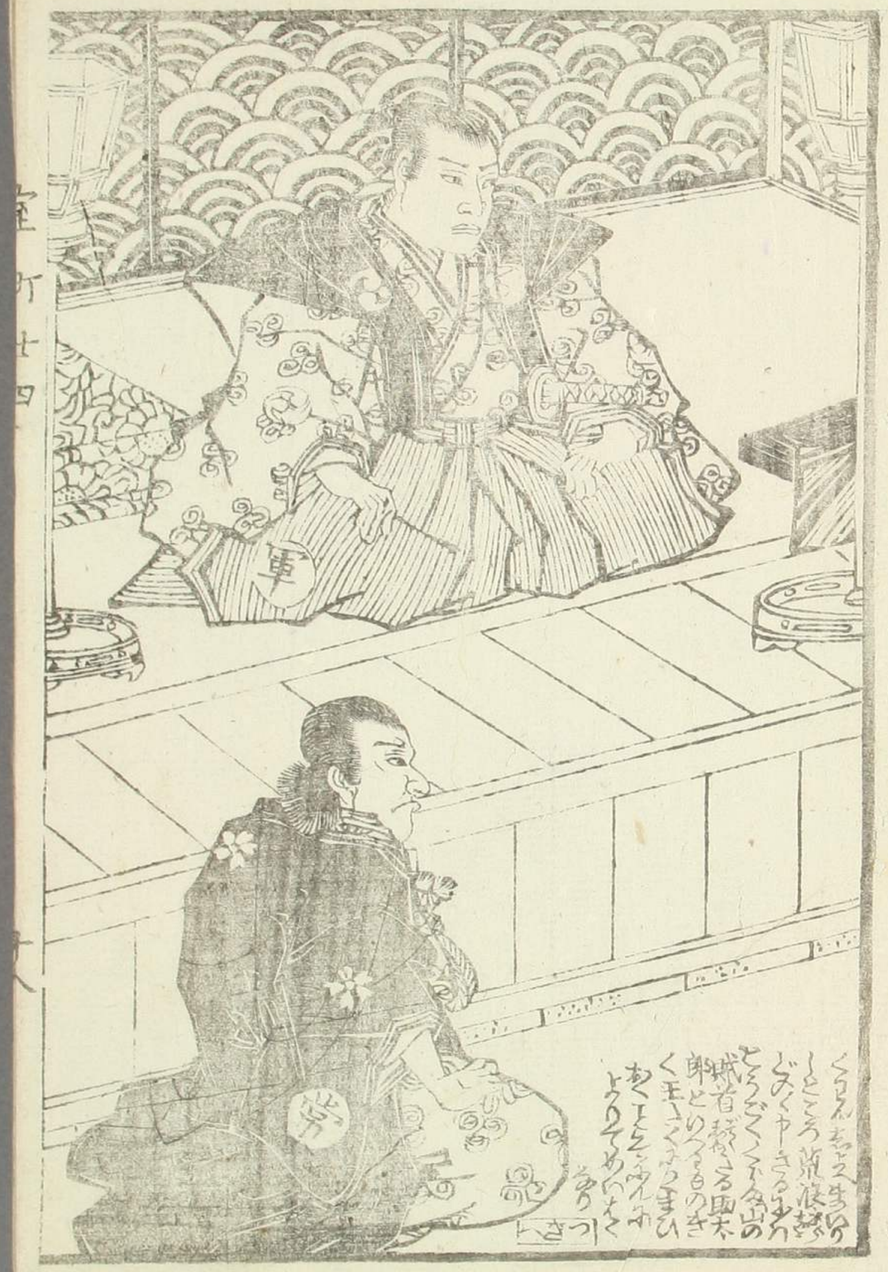
ふくびさん
とうとうれ
びさんをん
でもとえぞこハ
くちもとえぞこハ
ゆるうとこ飛ぶの
くろこもまん
さぶりくせもの
ひとりとこん
のめてこうう
ちのぶれハ
ありしを
ぐくも
さもな
ちまとう
ふる抓ぬ
と化けうく
るうてとび
めれどこの剣
ふちうちと
一時ばふもの
きつねびまてふハ
きく王ころをあハせ
ふるうとしやとうそふ
てさ泡ちうもふをうてあち
ゆくをやじとひとひるとハ
ちん六きく王するハうらうと

東中塚


蝶
菊

常
早

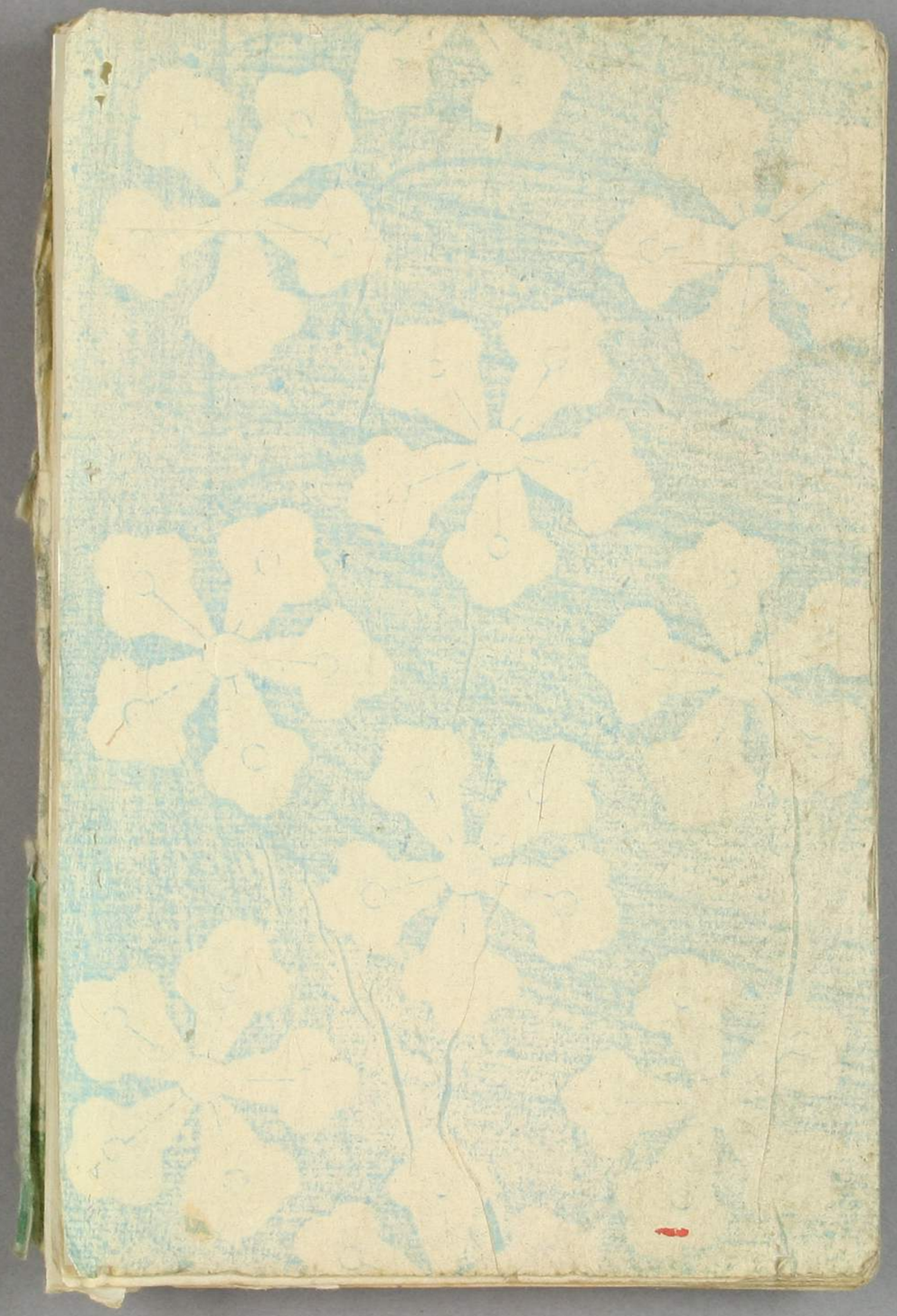
廉



菊
水

民

地本綿繪團扇問屋

厚化粧高尾嶋田 廿編 春水作 大尾國貞画
新島九尾傳 廿編 春水作 大尾國貞画
室町源氏胡蝶卷 三十編 種彦作 大尾國貞画
筆海四國閑書 十五編 種彦作 大尾國貞画
鼠祠通夜譚 十編 種彦作 大尾國貞画
明鶴墨画姫鶴襖 廿編 種彦作 大尾國貞画
童謡妙々車 三十編 種彦作 大尾國貞画
花封菅玉章 十編 種彦作 大尾國貞画
薄倖奴日記 三十編 春水作 大尾國貞画
七夕雪舞鶴飾譚 十五 種彦作 大尾國貞画

京橋區南鍋町壹丁目二番地
出板人 林 吉藏